

## 東京・ふるさとショップ探訪

〔第10回〕

## 「しまねっこ」がお出迎え!日本橋三越本店前の「にほんばし島根館」

のどぐろの干物、宍道湖のシジミから温泉コスメまで魅力満載

✦ 文 山田 稔 Text by Minoru Yamada ✦



にほんばし島根館  
東京都中央区日本橋室町1-5-3 福島ビル1階  
<http://www.shimane.jp>

各県のアンテナショップが集積する日本橋にいち早く店舗を構えたのが「にほんばし島根館」だ。オープンしたのは2003年。昨年15周年を迎えた。日本橋三越本店の真向かいという好立地。島根県観光キャラクター「しまねっこ」が迎えてくれる。今では年間約50万人が来館する、島根県の重要な物販・情報発信拠点となっている。

フロアは水産加工品、農産加工品、菓子、地酒、お茶、冷凍品などの食品物販コーナー、めのう製品、漆器などの工芸品物販コーナー、観光コーナー、ふるさと雇用情報コーナーと

いった構成で、隣の「主水」日本橋三越前店ではしまね料理を楽しむことができる。

物販コーナーの人気商品は、のどぐろ一夜干し、赤てん(魚肉練り製品)、大ぶりのしいたけ「雲太1号」など。宍道湖名産の大和しじみは冷凍、レトルト、みそ汁セットなど多彩な商品が並ぶ。脂が乗ったのどぐろは、酒のつまみにも、ご飯のおかずにも最高だ。

入り口近くで、女性向け商品が目にとまった。「日本最古の美肌温泉 玉造温泉をつかった姫コスメ」の数々だ。1300年前から神の湯として知られる玉造温泉の温泉水を配合したコスメで、「美肌温泉水で、潤いチャージ」と女性客にアピールしている。実は、島根県は美肌県として有名。有名化粧品メーカーが毎年発表する「ニッポン美肌県グランプリ」で昨年、島根県は3年ぶりに首位を奪還した。そんな島根パワーにあまりかきたいものである。

「にほんばし島根館」のもう一つの特徴は「店外販売」。デパートや企業

などに赴いて島根の特産品を販売している。

「企業の福利厚生の一環という位置づけですね。食堂や売店コーナーで即売会を行います。夕飯のおかず、おつまみ、おやつなどにお買い求めいただき、みなさんに喜んでいただいています。年間100回以上は実施していますね」(店長の今里隆宏さん)

日本橋三越本店の前。おいしい島根が待っている!



## profile

1960年生まれ長野県出身。日刊ゲンダイ経済編集部長、広告局次長を経て独立。編集工房レーヴ代表。著書に「酒と温泉を楽しむ[B級]山歩き」(光文社知恵の森文庫)、「分煙社会のススメ。」(光文社)など。「美楽」創刊時に山歩きエッセイを連載。